

学校紹介

兵庫県淡路市立

志筑小学校



住所 兵庫県淡路市志筑1578
電話 0799-62-0051
FAX 0799-62-0016
E-mail shiduki-es@awaji.ed.jp

学校規模 <平成31年5月1日現在>

13学級(内 特支的1) 児童数398名 全職員数32名

1. 志筑小学校の場所及びアクセス



11月15日(金)全国大会2日目のアクセス

1. チャーターバス利用 (貸し切り)

「各ホテル前」から、「志筑小学校」まで直通の大型バス2台運行予定

2. 高速バス利用 (淡路交通、神姫バス、山陽バス・JRバス)

*JRバスの三宮BTはミント神戸から。その他は、三ノ宮駅東端のバスターミナルから

「高速舞子バス停」から「津名港BT」まで約35分。徒歩約12分

神戸「三宮BT」から「津名港BT」まで約60分。徒歩約12分

11月15日は、「津名港BT」 ↔ 「志筑小学校」間に、無料送迎バスを運行します!!

車利用

神戸淡路鳴門自動車道・津名一宮I.C.より約7分。

2. 校区の概要

本校は大阪湾に面する淡路島中央東岸にあり、宝珠川が志筑川に合流する河口付近に位置する。校区である志筑地区は昔から住宅地や様々な店が集まっており、津名地区の中心地として発展してきた。また、埋立地や国道28号線沿いには大型店舗や新しい店舗が進出している。

淡路市の小学校の中で児童数・職員数が最も多く、また教育に対する地域住民の関心は高く、学校に寄せる期待は大きい。

3. 学校の沿革

明治 6年 8月	静村小学校として天神に開設
明治 7年 8月	志筑小学校として円満寺に分離独立
明治 8年 4月	引摂寺に移転
明治10年12月	字連堵へ校舎新築移転
明治17年 4月	静村小学校を統合し一村一校となる
明治20年 4月	志筑尋常小学校と改称
明治25年11月	字連堵へ校舎改築移転
明治35年11月	船橋へ校舎改築移転
明治40年 4月	志筑尋常小学校と志筑高等小学校が合併し志筑尋常高等小学校となる
昭和16年 4月	志筑国民学校と改称
昭和22年 4月	志筑町立志筑小学校と改称
昭和24年 4月	校舎新築
昭和30年 4月	町村合併により津名町立志筑小学校と改称
昭和40年 4月	特殊学級を設置
昭和42年10月	完全給食を実施
昭和45年 3月	体育館完成
昭和47年 4月	プール落成
昭和52年 9月	校舎改築第一期工事竣工
昭和54年 4月	校舎改築第二期工事竣工
平成 7年 1月	阪神・淡路大震災により校舎及び体育館が損壊
平成 8年 4月	校舎・体育館外装補修 運動場改修
平成11年 2月	パソコン教室完成
平成13年 3月	体育館床改修
平成14年 2月	第二運動場フェンス設置
平成17年 4月	町合併に伴い淡路市立志筑小学校と改称
平成20年 1月	体育館耐震・大規模改修工事
平成22年 8月	太陽光発電システム設置
平成26年 3月	校舎耐震・大規模改修工事
平成28年 3月	特別教室棟工事竣工

四	三	二	一	
いざや 励まん	学びの 技をえ	若き いのち を	我々が むねに 送る なり	淡路の 島の 志筑の 里の 来りて 学ぶ 我々の 望み
絶え 間なく	つと むべし	送る なり	絶え 間なく	真中 なる 学び 舎に 六百 の いや 遠し
わが は国 の道 を	朝な 夕なに 集い 来て	波の おと	磯ち かく	
自治 の光 を	この 恵ま れし	寄せて は返 す	ちぬ の浦 わの	
やが ては 国の 道	心を きた え	我々が むね に	我々が むね に	
いそ しむ は	学び 舎に	絶え 間なく	絶え 間なく	
仰ぎ つつ	集い 来て	送る なり	送る なり	
いそ しむ は	集い 来て	送る なり	送る なり	

校歌

平成31年度 学校経営方針

1 教育目標

『日本一 人を大切にする学校』

《 校訓 》：日 新 日 進

＜今年度の重点＞

原点から、本物の教育を発信しよう！！

①日本一のクラスに！

～目標は上の学年・力を人のために～

②自分をつくる責任者！

～心のスイッチ・本気が人を成長に～

小中一貫の目標

自ら考え、協働して課題解決できる『確かな学力』を育み、心豊かで自立した子どもの育成



2 めざす児童像

(1) 意欲を持って学ぶ子

(2) 人のために一肌ぬげる子



3 志筑小学校の役割

(1) 確かな学力をつける

(2) 良き人間関係を結べる力をつける

4 六つの重点目標

(1) 「職員一丸」(共有感)

・課題の共有 ・取組の共有 ・成果の共有

(2) 「教師の確かな見取りと勇気づけ」

・児童一人一人の学びと成長を見逃さない ・期待をかけ認めてボイスシャワー

(3) 「リーダーを育て、集団を育てる」

・集団のために自ら動こうとする姿勢の醸成

(4) 「子どもたちの思考を深め、楽しい授業づくり」

・主体的対話的で深い学びの授業づくり

(5) 「ふるさと・夢・自立を育てる」

・生活科・総合的な学習の充実・人権教育の充実 ・キャリア教育の充実

(6) 「地域と連携した学校力の向上・児童の育成」

・地域と社会に開かれた教育課程と教育の推進

5 校内研修を核として

研究主題 「一人ひとりが主体的に探究する授業の創造」

～地域から学び ふるさとの心を寄せ続ける子どもをめざして～

6 学校経営における5つの柱

～「安全・安心・確かな学力・自立・心と体」～

(1) 児童の命と安全を守る安全教育を進める

(2) 子どもたちが安心してがんばれる居場所をつくる

(3) 確かな学力を育成する

(4) 児童の主体性を育て、自立を促す

(5) 心と体を磨く

